

本書の見方

本書の見方

■本書の見方

1. 本書の構成と内容

本書は、システム別配線図、ワイヤハーネス経路図、リレーロケーション、配線臙装図および総配線図により構成されています。

本書の構成	主な内容
システム別配線図	<p>電源からアースポイントまでの電気回路をシステム別に分類し、判りやすく説明したものです。電源回路やアースポイント回路等に分類してあります。</p> <ul style="list-style-type: none">●電源回路 バッテリーからヒューズブルリンク、イグニッションスイッチ、各ヒューズ等までの回路を掲載してあります。 また、各ヒューズ等の負荷側のシステムの名称を別表に掲載してあります。●各システム回路 スターティング、イグニッション等各システムのヒューズからアースまでの回路を掲載してあります。●アースポイント回路 各部品のアース側端子の接続状態を説明してあります。
ワイヤハーネス経路図	ワイヤハーネスの位置・ワイヤハーネスとワイヤハーネス接続コネクタ位置およびアース位置を車両上視図に示してあります。
リレーロケーション	ジャンクションブロック、リレーブロック、リレー、ヒューズの組み付け位置をイラストで明示してあります。
配線臙装図	コネクタの組み付け位置と接続先部品名称、ワイヤハーネスの取り回しをイラストで説明してあります。
総配線図	各システムの横並びおよびそれらの接続関係を示すものです。 回路や部品の検索がしやすいように、システム別に大まかに分類したレイアウトになっています。 また、アースポイントを回路図上に示してあります。

2. システム別配線図の見方

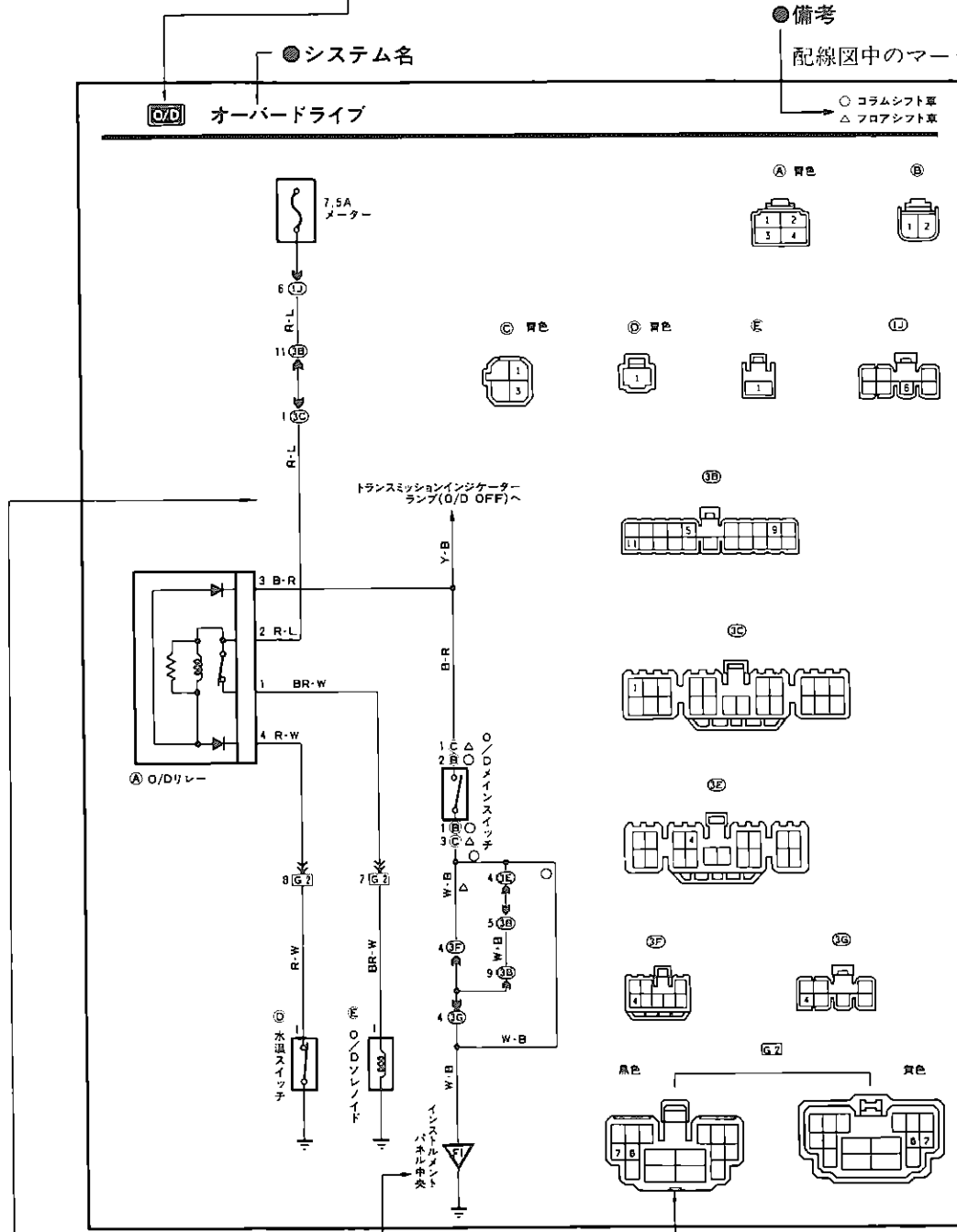
●システムインデックス

▶システム別配線図

簡単なイラストで各システムを表現したものです。検索の際に利用してください。

●備考

配線図中のマークと対比してください。



●アースポイントの説明

●コネクタ形状図

●システム別配線図

各システムのヒューズからアースまでの回路を示してあります。

また、ワイヤハーネスの線色、使用するコネクタ記号および端子番号を表示してあります。

配線図上に表示されたコネクタの形状、端子および色を表示してあります。

部品およびジャンクションブロックに接続するコネクタは、ワイヤハーネス側のコネクタを表示しています。ワイヤハーネス間のコネクタは、オス・メス両方のコネクタを表示しています。

▶コネクタ

システム別配線図には、そのシステムで使用するコネクタの形状、端子および色が表示されています。

配線図中の記号	接続関係	配線図中の表示例	コネクタ記号の表示例
①A, ①B, ①C, ……	部品に直接接続	<p>端子番号 1, 2, 3, 4 コネクタ記号 A リレー</p> <p>1つのコネクタと1つの部品</p>	<p>コネクタ記号 A 端子番号 1, 2, 3, 4</p> <p>ワイヤハーネス側のコネクタを表示</p>
		<p>端子番号 1, 2 コネクタ記号 A コネクタ記号 B コネクタ記号</p> <p>複数のコネクタと1つの部品</p>	<p>コネクタ色 A → コネクタ記号 → B 黒色 端子番号 1</p> <p>ワイヤハーネス側のコネクタを表示</p>
③A, ③B, ③C, …	ジャンクションブロック No. 3 に接続	<p>端子番号 3, 6 コネクタ記号 3A ジャンクションブロック内の回路</p>	<p>3A</p>
①IA1, ①IA4, ……	ワイヤハーネス間を接続	<p>1 → 端子番号 メスコネクタ側 ← IA1 → オスコネクタ側 コネクタ記号</p>	<p>IA1</p>
①	リレーブロックNo.1内のヒューズ及びリレーに直接接続	<p>端子番号 2, 3 エンジン10A コネクタ記号 2</p>	リレーロケーション (P.6参照) に掲載
②	リレーブロックNo.2内のヒューズ及びリレーに直接接続		
⑤	リレーブロックNo.5内のヒューズ及びリレーに直接接続		

(注) ① 乳白色のコネクタは、色の表示を省略してあります。

② ジャンクションブロックに接続するコネクタ、ヒューズに接続するコネクタおよびワイヤハーネス間を接続するコネクタは、同じコネクタ記号でリレーロケーションおよび配線機装図に表示されています。

▶ワイヤハーネスの線色

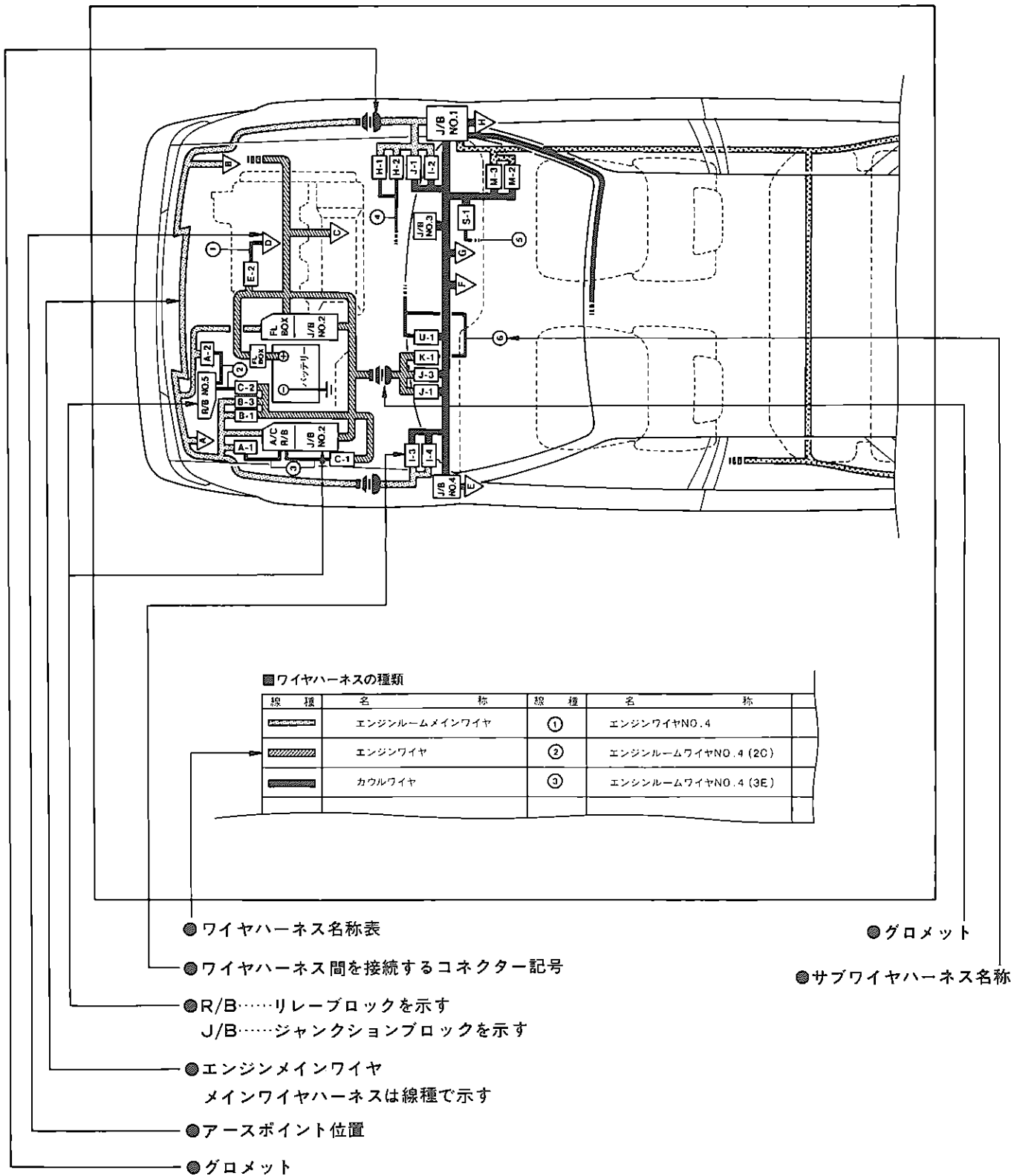
以下の略語で配線図中に表示されています。

略語	意味	略語	意味	略語	意味
B	黒	BR	茶	G	緑
GR	灰	L	青	LG	黄緑
O	橙	P	桃	R	赤
V	紫	W	白	Y	黄

(注) W-Bのような2つの略語で示されたものは、白色の地色に黒色の細線があるワイヤハーネスを示します。

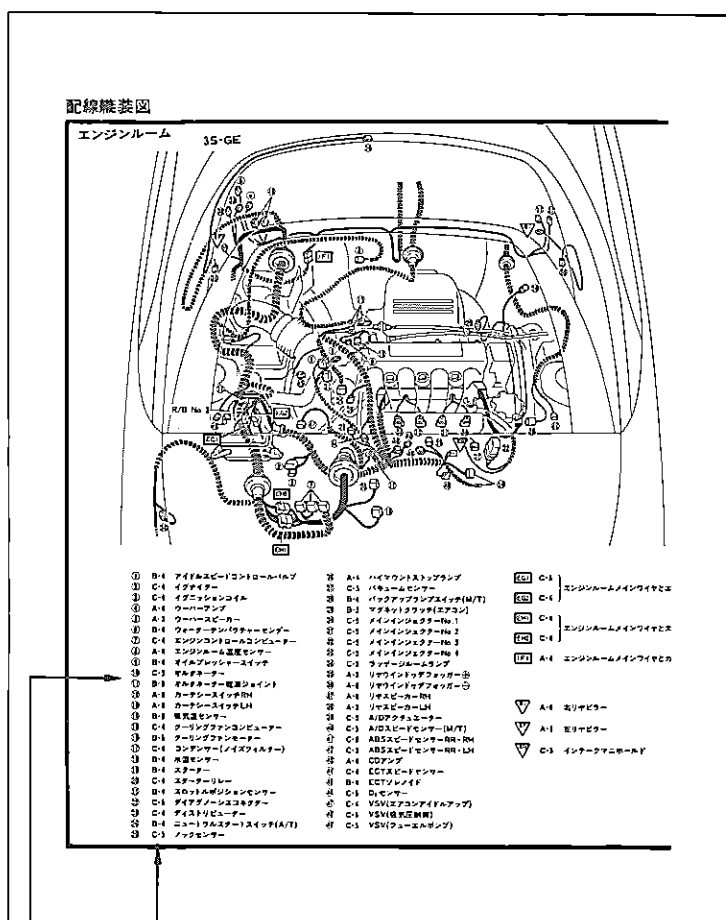
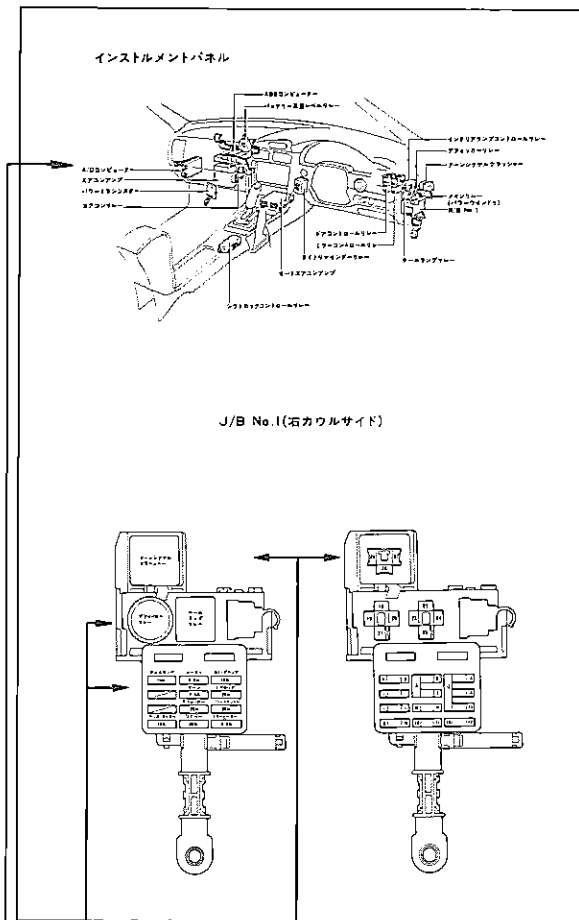
3. ワイヤハーネス経路図, リレーロケーション, 配線臙装図の見方

ワイヤハーネス経路図



リレーロケーション

配線機装図



●コネクタ形状図

コネクタ記号は ③A, ③B, …や ①, ②…で示されています。(システム別配線図中の記号と同一)

●リレー、ヒューズの組み付け位置

●車両組み付け位置

●コネクタ記号、アースポイント記号

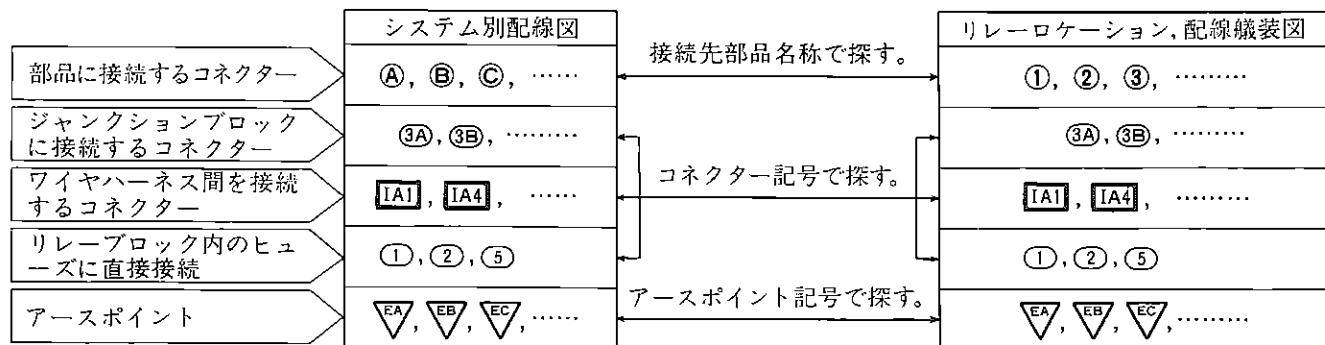
以下のように示されています。

- 部品に直接接続するコネクタ (名称は50音順) …… ①, ②, ③, ……
- ジャンクションブロックに接続するコネクタ …… ③A, ③B, ……
- ワイヤハーネス間を接続するコネクタ …… IA1, IA4, ……
- アースポイント …… EA, EB, EC, ……
- ダイオード ……

●ロケーション

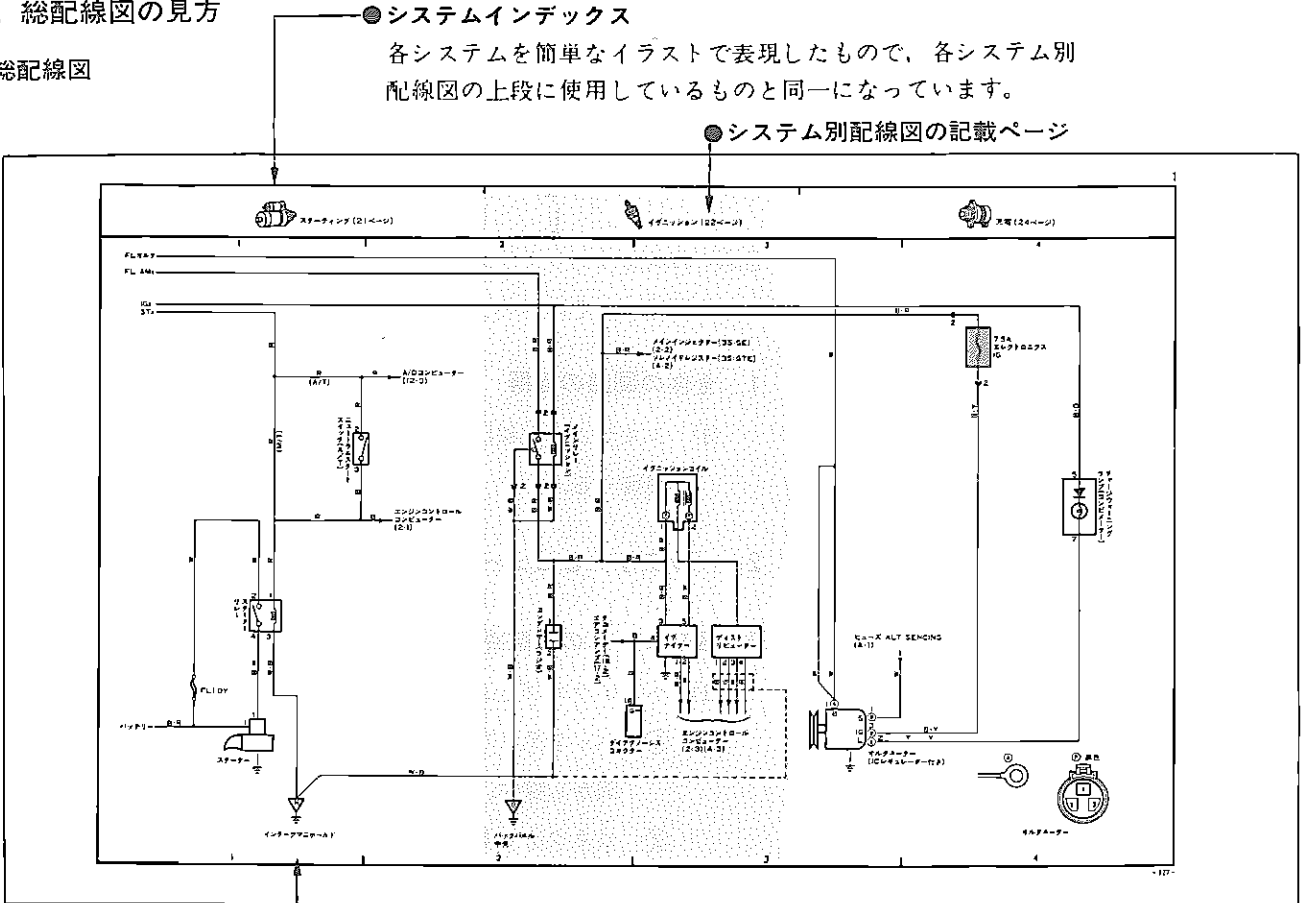
名称からイラストの位置を検索する際に利用して下さい。

(注) システム別配線図のコネクタおよびアースポイントをリレーロケーション、配線機装図より探す方法は以下の通りです。






4. 総配線図の見方

▶ 総配線図



● アースポイントの説明

▶ 総配線図ロケーション

総配線図ロケーション		
システム	ロケーション	
イグニッション		1-5
インテリアランプ		9-7
エアコンディショナー クーラー & ヒーター		4-4

● 総配線図上の掲載場所をあらわしたもので、検索の際に利用してください。

総配線図の折り込みページの前に掲載してあります。

5. 略語の意味

本文中に掲載される略語の意味は以下の通りです。

ABS : アンチロックブレーキシステム
 A/D : オートドライブ
 A/T : オートマチックトランスアクスル
 C/B : サーキットブレーカー
 ECT : エレクトロニックコントロールトランスミッション
 EFI : エレクトロニックフューエルインジェクション
 FL : ヒュージブルリンク
 FR : フロント

IG : イグニッション
 J/B : ジャンクションブロック
 M/T : マニュアルトランスアクスル
 O/D : オーバードライブ
 R/B : リレーブロック
 RR : リヤ
 S/W : スイッチ
 VSV : バキュームスイッチングバルブ

6. 本書の使用例

本書の構成・掲載内容および略語・記号の意味を理解した上で、検索順序や調べる事柄などをマスターしてください。

これにより本書を有効に活用し、車両の正確・迅速な作業を行うことができます。

以下に、「ヘッドランプ不灯」の不具合について本書の使用方法の一例を示します。

巻頭の目次よりヘッドランプの回路が本書の36ページに掲載されていることを確認し、そのページを開く。

1. 全体の回路の理解

- (1) システム別配線図に掲載されているヘッドランプ回路の作動を理解する。

2. バッテリーとヒューズブロックの点検

3. 各ヒューズの断線点検

- (1) ヘッドランプヒューズの断線点検

- ① ヘッドランプヒューズのコネクター記号をシステム別配線図から探す。

- ② コネクター記号が⑤であることを確認する。

〈参考〉コネクター記号⑤は、ヘッドランプヒューズがR/B No.5内のヒューズブロックにあることを示す。

(P.4参照)

- ③ R/B No.5およびヘッドランプヒューズの組み付け位置をリレーロケーション (P.119に掲載) から探す。

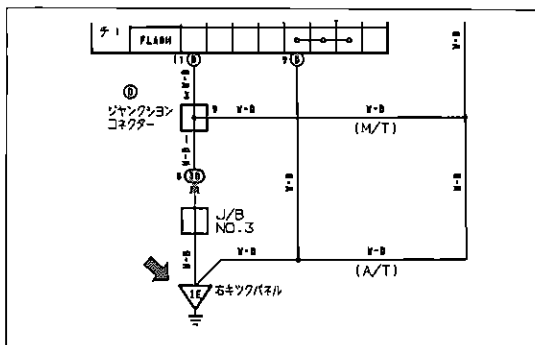
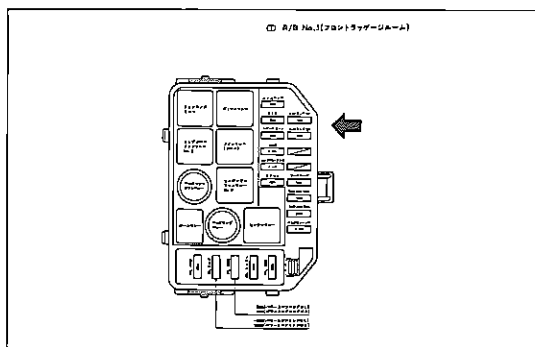
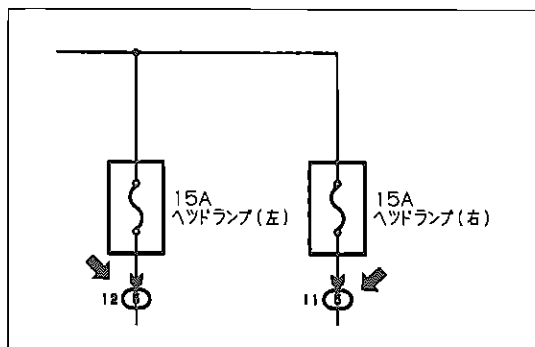
- ④ ヘッドランプヒューズの断線を点検する。

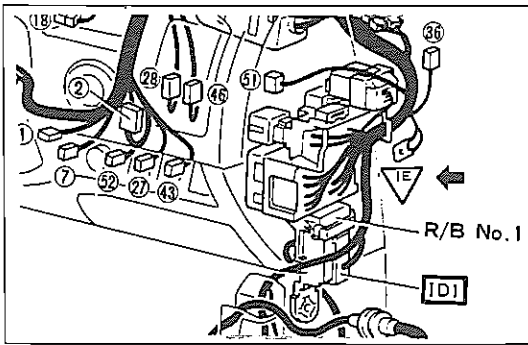
- (2) (1)の手順に従い、各ヒューズの断線を点検する。

4. アースポイントの点検

- (1) ヘッドランプ回路のアースポイント記号をシステム別配線図から探す。

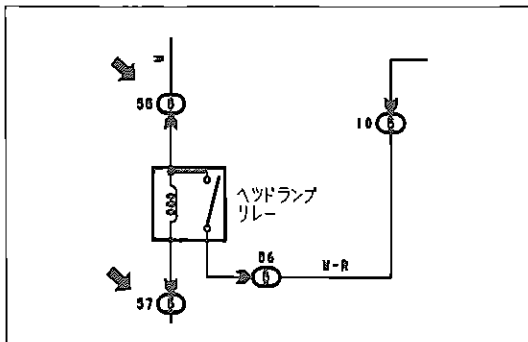
- (2) アースポイント記号▽1E/右キックパネルと記載されていることを確認する。





(3) 巻末の配線儀装図を見て、アースポイントの組み付け位置を探す。

(4) アースが確実に組み付けられていることを確認する。

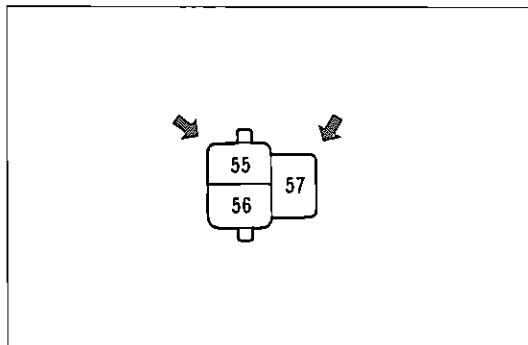


5. システムの結線状態と作動の点検

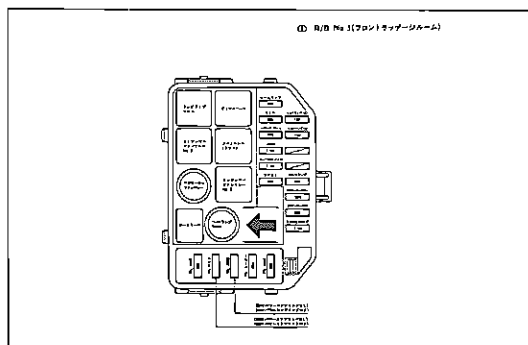
(1) ヘッドランプリレーの作動点検

① ヘッドランプリレーのコネクター記号および端子番号をシステム別配線図から探す。

② コネクター記号は (C), 端子番号はそれぞれ55, 57であることを確認する。

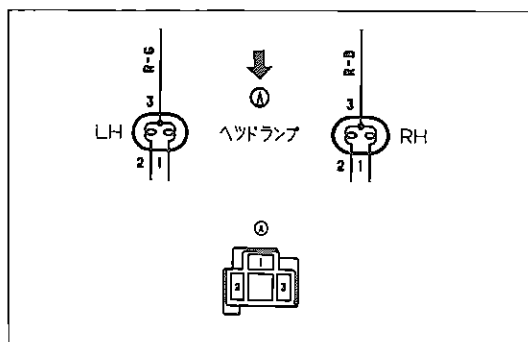


③ コネクター形状図を見てコネクターの形状および端子の位置を調べる。



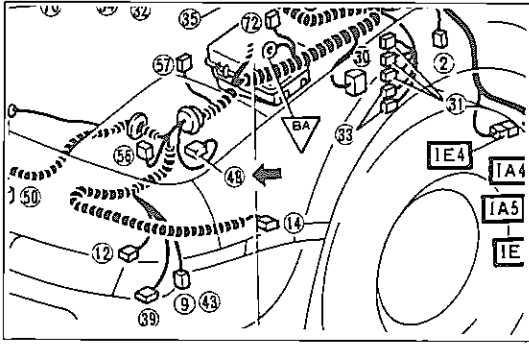
④ R/B No.5およびヘッドランプリレーの組み付け位置をリレーロケーション(P.119に掲載)から探す。

⑤ 車両からヘッドランプリレーを取りはずし、正しく作動するか確認する。



(2) その他の部品の単体点検

① 各部品のコネクター記号 (A, C, D, ...) および端子番号をシステム別配線図から探し、コネクターの形状、端子の位置および色を調べる。



② 配線機装図を見てコネクタの組み付け位置を探す。

〈参考〉 A, B, C, …の記号で示されたコネクタは、配線機装図の下部の部品名称欄(50音順に掲載)から接続する部品名称を探し出し、その番号(①, ②, …)およびロケーション(A-1, B-1, …)から上部イラストより組み付け位置を見つける。

③ 車両から部品単体を取りはずし、正しく作動するか確認する。

(3) ワイヤハーネス間のコネクタの点検

① システム別配線図に掲載されているコネクタ記号および端子番号から、コネクタの形状と端子の位置を調べる。

② オス側コネクタとメス側コネクタを識別する。

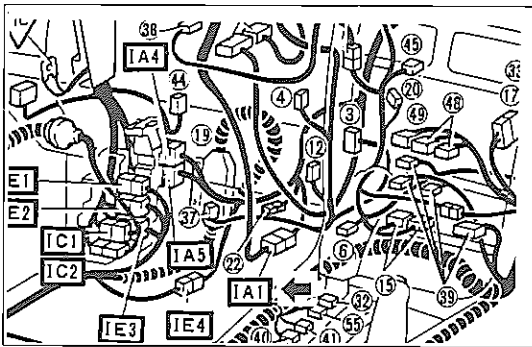
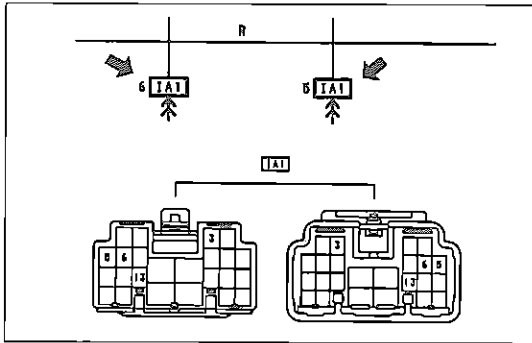
〈参考〉 コネクタ形状図は、右側にオス側コネクタ、左側にメス側コネクタを掲載してある。

③ オス側、メス側のワイヤハーネスの線色を調べる。

〈参考〉 $\frac{R-L}{メス側} \text{IA1} \leftarrow \frac{R-L}{オス側}$

④ 配線機装図を見てコネクタの組み付け位置を調べる。

⑤ コネクタが確実に接続されていることを確認する。



6. 他システムとの関係のチェック

(1) ヘッドランプヒューズと他システムとの関係のチェック

① 電源(P.15に掲載)を見て、ヘッドランプヒューズが他のどのシステムに関係しているかを調べる。

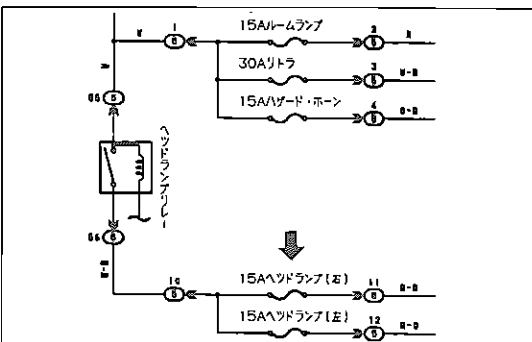
② 各ヘッドランプヒューズは、それぞれのヘッドランプにのみ関係していることを確認する。

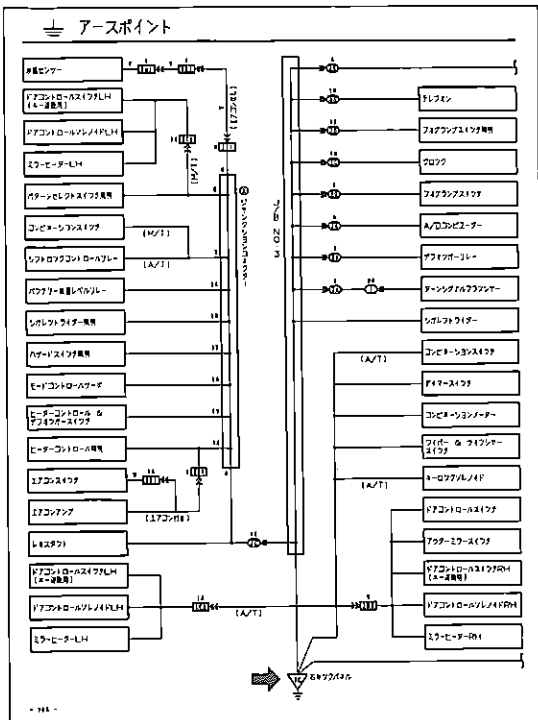
R/B NO.5(フロントラゲージルーム)		
10A	エアコン	エアコンスイッチ, VSV(エアコンアイ)
15A	ヘッドランプ(右)	ヘッドランプRH
15A	ヘッドランプ(左)	ヘッドランプLH
15A	フォグラブ	フォグラブ, ステ
30A	ラジエーターファン	ラジエーターファン
30A	コンデンサーファン	コンデンサーファン
7.5A	オルタセンシング	オルタネーター

(2) ヒューズの電源側の接続状態のチェック

① 電源(P.18に掲載)を見て、各ヒューズの電源側の接続状態を調べる。

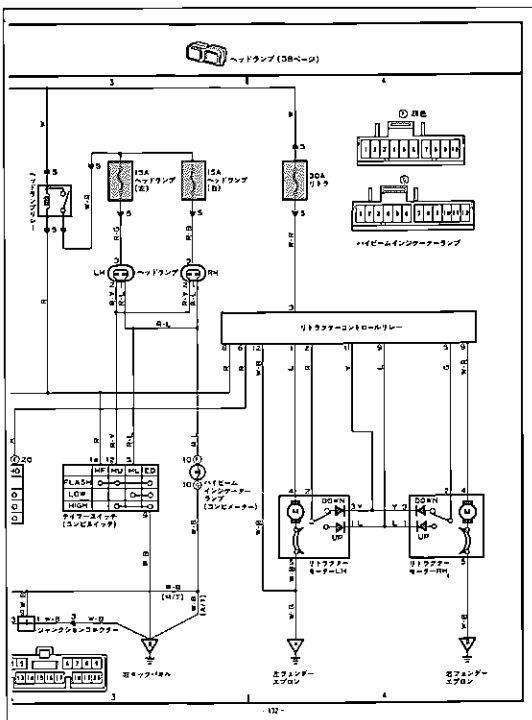
② バッテリーからヘッドランプヒューズの間にはリトラ(30A)、ハザード・ホーン(15A)、ルームランプ(15A)の各ヒューズが分岐していることを確認する。





(3) アースポイントの他のシステムとの関係のチェック

- ① アースポイントのシステム別配線図(P.104)を見て、ヘッドランプシステムのアースポイント ∇ 右キックパネルが他のどのシステムと共用しているかを調べる。



(4) ヘッドランプシステムと他のシステムの関係のチェック

- ① 巻末の総配線図を見て、ヘッドランプシステムが他のどのシステムとどのように接続しているかを調べる。
 〈参考〉 総配線図の検索には、上段のシステムインデックスまたは総配線図ロケーションを利用する。

- ② ヘッドランプシステムは、テールランプ、イルミネーションシステムのライトコントロールスイッチを介して接続していることを確認する。

● 以上のようにして本書の各セクションを有効に活用し、効率の良い作業を行ってください。

MEMO